

地震工学委員会
平成17年度第1回（通算第19回）委員総会 議事録

I. 日 時：平成17年4月20日（水）15：40～17：40

II. 場 所：土木学会講堂

III. 出席者：（50音順）

顧 問：岩崎敏男、伯野元彦

委員長：後藤洋三、副委員長：家村浩和

幹事長：大友敬三、副幹事長：能島暢呂、矢部正明

委 員：安中正、井合進、石川裕、磯山龍二、岩田秀治、岩楯敏広、岩本利行、大角恒雄、大塚久哲、大野春雄、大保直人、海野隆哉、北浦勝、木全宏之、工藤富士樹、幸左賢二、佐伯光昭、坂井藤一、佐々木康、佐藤清隆、澤田純男、塩井幸武、志波由紀夫、庄司学、鈴木崇伸、砂坂善雄、竹内幹雄、田蔵隆、東畑郁生、当麻純一、中村正博、中山学、成富勝、橋本隆雄、濱田政則、林亜紀夫、原田隆典、広中良和、藤間功司、松田隆、水田洋司、森敦、安田進、山崎文雄

幹 事：五十嵐晃、鈴木猛康、田中努、松田泰治、宮島昌克

IV. 配付資料

資料19-1 地震工学委員会平成16年度第2回（通算第18回）委員総会 議事録（案）

資料19-2 平成17年度 地震工学委員会委員名簿

資料19-3 平成17年度 地震工学委員会運営幹事（案）

資料19-4 運営委員会・小委員会平成16年度活動概要・平成17年度活動計画（案）

資料19-津波 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会の活動継続（案）

資料19-5 小委員会で実施する受託研究について

資料19-6-1 地震工学研究発表会 実行委員会報告

資料19-6-2 地震工学論文集第28巻編集委員会報告

資料19-7 スマトラ島北西沖地震・津波被害 土木学会スマトラ島調査団速報

資料19-9 ローカルサイトエフェクトの出版に関する報告

資料19-13 ISO23469活動報告

資料19-8、10、11、12は欠番

V. 議事

総会設立の確認

出席委員54名、委任状25名、計79名の参加があり、委員総会の定足数56名に達し、総会の設立が確認された。

1. 開会挨拶

・後藤委員長より開会の挨拶が行われた。

2. 議長選出

立候補者がおらず、幹事会推薦の田蔵委員が議長に選出された。

3. 前回議事録（案）の確認（大友運営幹事長）－資料19-1

議事録（案）の内容を説明後、承認された。

4. 委員の選出等－資料19-2、資料19-3

・次期委員長の家村委員が紹介され、次期委員長の指名により川島委員が副委員長として承認された。

・片山委員、亀田委員の顧問就任と新委員の紹介が行われ承認された、新委員の出席者は自己紹介を行った。

・平成17年度の運営幹事（案）が紹介され承認された。

5. 平成16年度活動概要と平成17年度活動計画（案）について－資料19-4

- ・大友運営幹事長より16年度の活動概要と予算収支の説明がなされ承認された。
 - ・家村次期委員長より17年度の活動計画（案）と予算計画（案）の説明がなされ承認された。
 - ・各小委員会委員長または代理により小委員会の平成16年度活動概要の報告および平成17年度の活動計画（案）が紹介され承認された。
- 質疑応答は以下のとおり。

Q1：福岡県西方沖地震の調査団が立ち上がっているが報告書の作成スケジュールはどのようになるのか。

A1：最近では報告書完成後にホームページに掲載して対応している。

C1：地震被害調査報告書を印刷物にしようと考えているが、販売等でご協力願いたい。

A2：印刷費用の負担等に関して土木学会事務局と調整する。

Q2：総合地震シミュレータ研究開発小委員会の活動期間は17年度も継続か。

A3：小委員長は国外出張中であり活動は終了していないと考えているが確認する。

6. 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会の活動継続（案）について－資料19-津波

7. 報告事項等

(1) 小委員会で実施する受託研究について－資料19-5

- ・資料に基づき大友運営幹事長より小委員会で実施する受託研究のルールに関して確認がなされた。

(2) 地震工学研究発表会 実行委員会報告－資料19-6-1、資料19-6-2

- ・盛川委員より実行委員会の状況について説明がなされた。
- ・技術展示は1件5万円程度で10社程度を募集する予定である。
- ・論文集は1週間程度工程が遅れ気味である。近日中に査読者宛の依頼が届く予定である。

(3) 土木学会スマトラ島調査団速報－資料19-7-1、資料19-7

- ・後藤委員長よりスマトラ島調査の概要報告がなされた。
- ・現地では科学振興調整費の調査団と協力して調査を実施した。
- ・アチェ州は紛争地域でビザの取得が非常に困難であった。
- ・現在英文報告書を作成中。
- ・濱田委員の方で「稲村の火」の英訳等を準備して防災教育面で協力の予定。

(4) 土木構造物の耐震性能評価指針の出版（資料なし）

- ・当麻委員より土木構造物の耐震性能評価指針の出版に関する状況の説明がなされた。
- ・内容に関して地震荷重の用語は使用されていない点やプッシュオーバー解析と動的解析の位置づけが明確化された点などが紹介された。

(5) ローカルサイトエフェクトの出版に関する報告－資料19-9

- ・佐藤委員より「地震動のローカルサイトエフェクト-実例・理論そして応用-」が無事出版されたことが報告された。

(6) 「断層進展およびこれに直接関連する地震被害研究小委員会」終了報告

- ・資料未着のため次回報告することとした。

(7) ISO23469活動報告－資料19-13

- ・井合委員よりISO23469活動状況について説明がなされた。
- ・ISO23469は2005年2月22日のDIS投票により100%承認となり、直接ISO発行段階に持ち上げることとなったことが報告された。
- ・今後の活動は森委員を中心に継続の予定。

8. 閉会挨拶

- ・家村次期委員長より小委員会の活性化、若手の活躍、地方の活性化、国際化、リスクマネジメントへの取り組みなど今後の活動に関する抱負が述べられ閉会となった。

以上（記録：松田泰治）